

第189回教育研究評議会議事録

- 1 日 時 令和元年12月19日（木）13時30分～15時25分
- 2 場 所 本部大会議室
- 3 出席者 森脇，福井，江馬，野々村，鈴木，大藤，吉田，林，王，別府，山田，富樫，
洞澤，岩間，中島，村井，板谷，杉山，光永，海野，千家，浅井，丹羽，益川，
小牧，栗屋，山本，野村，細野，森田の各評議員
オブザーバー：吉田，松原
- 4 第188回の議事録を確認した。
- 5 報告事項
 - (1) 令和元年度第9回教学委員会(12/17)について
江馬評議員から，レジュメに基づき報告があった。
 - (2) 平成30年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
福井評議員から，資料1に基づき，国立大学法人評価委員会から，平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について，全体評価，項目別評価の概要等について報告があった。
業務運営の改善及び効率化に係る評価結果が「おおむね順調」とされた理由について，若手教員の雇用ができていないためであるとの報告があった。
 - (3) 令和元年度大学機関別認証評価訪問調査結果への対応状況について
福井評議員から，資料2-1に基づき，11月5日（火）～6日（水）に行われた大学改革支援・学位授与機構（以下「機構」という。）による令和元年度大学機関別認証評価訪問調査の終了後，追加で確認を求められた事項に対する回答内容について報告があり，地域科学部に関する一部の事項を除き，学位及び業績の公表等，各種の指摘への対応を回答期限までに行った上で回答したとの説明があった。続いて，資料2-2に基づき，未対応となっている事項である，地域科学部のコース選択に関する明文化された規定等の指摘に対する対応について，学長から地域科学部長へ，指摘事項への対応を踏まえた地域科学部規程改正案の提出を求めた旨の発言があった。本件について，富樫評議員から，地域科学部教授会の審議を経た対応案について説明があった後，福井評議員から，機構との調整を踏まえ，年度末までには基準を満たす状況としたいとの説明があった。
 - (4) 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた調書の作成等について
福井評議員から，資料3に基づき，「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた調書について，名古屋大学との間で記載内容を調整した上で東海国立大学機構設立準備会議において確認したものであり，文部科学省へ提出予定であるとの説明があった。

(5) 地域環境変動適応研究センターの設置について

野々村評議員から、資料4に基づき、令和2年2月に、研究推進・社会連携機構内に環境科学分野研究拠点として、地域環境変動適応研究センターを設置する予定であることについて説明があった。

(6) 岐阜大学と名古屋大学の人事制度統合方針（案）について

大藤評議員から、資料5に基づき、岐阜大学と名古屋大学の人事制度を統合することについて概要の説明があった。続いて、人材開発部長から、人事制度統合方針（案）の内容と今後の予定について説明があり、各部局等へ意見照会中であること、また、12月23日（月）に全学説明会を実施予定である旨説明があった。

(7) 令和2年度「成果を中心とした実績状況に基づく配分」に用いるデータ等の提出について

大藤評議員から、資料6に基づき、文部科学省から依頼のあった、令和2年度「成果を中心とした実績状況に基づく配分」に用いるデータ等の提出について、集計結果等の報告があり、研究業績数調査の結果（集計中）を加えて提出する予定である旨説明があった。

(8) 役員会報告について

議長から、資料7に基づき報告があった。

(9) 教育職員の雇用について

議長から、資料8のとおり教育職員及び特任教員を雇用した旨の報告があった。

6 審議事項

(1) 東海国立大学機構設立時の知的財産業務の統合について

王評議員から、資料9に基づき、東海国立大学機構設立時に知的財産業務を統合すること、また、統合に伴い実施補償金等を統一することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 次回の開催について

- (1) 次回は、令和2年1月23日（木）大会議室において、13時30分から開催することとされた。